

西高だより 鼓動 Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
(通算第88号)
平成26年2月28日

卒業おめでとう！ 共に過ごした3年間を振り返って 校長 成澤 満



晴れて酒田西高校を卒業する皆さん。卒業おめでとう。

私も3年前に酒田西高校に赴任し、この春に定年を迎えます。図らずも私が皆さんの入学を許可し、そして今度は卒業を認定することになりました。酒田西高校を卒業する皆さんとともに、私も酒田西高校を最後に教育の第一線から退くことになりました。偶然とはいえ感慨深いものがあります。

さて、この3年間を振り返って思いだされることは、何といっても皆さんが受験した高校入試の翌日3月11日に発生した未曾有の大震災のことです。この東日本大震災は私たちに様々な警鐘を鳴らすとともに、改めて命の大切さ、人との絆の在り方を問いかけてました。

私は赴任早々の西高だより「鼓動」に“東日本大震災に思う”と題して、西高生に対する私の思いを書きました。卒業にあたり、改めてその一部を紹介したいと思います。『小さなことであっても何か人のために手助けできる人間は、豊かな想像力と人間性に富み、前向きな気持ちで自分の将来を描くことができる人間です。そして、その実現に向け、本人が持っている資質や能力を最大限に開花させることができる逞しい人間です』(「鼓動74号」から)。伝えたかったことを一言でいえば“ひと(他人)のために力になれる逞しい人間になってほしい”ということです。

これから出逢う人が皆さんの人生を左右する 3年次主任 佐藤 康典

皆さんは自分のお父さん・お母さんの10代～20代の頃の話聞いたことありますか。

同じ高校生時代を経て現在に至ったことを考えるとどんな高校生だったか興味はあるはず。同じように担任や部の顧問にも聞いてみて下さい。なかなか話してくれないかもしれませんが。その後、どうして今の職に就いたのか。どこでお母さんとお出逢ったかなどなど。

周りの大人は、様々な紆余曲折、山あり谷ありで現在に至っています。ただそこにはいろんな人との出逢いや学び・教えがあったと思います。そこには苦労話あり・生きるヒントが隠れていたりするはず。これから、社会に出て働く人は周囲の目上の人から学んで下さい。そして目上の方から可愛がられる人物になって下さい。親元を離れて1人暮らしを始める人、大学等全国から来る同年代たくさんの友達を作って下さい。世界は広くいろんなすばらしい人がたくさんいます。高校までとは違う学びがこれから待っています。皆さんの生き方を決めるのはこれから出逢う人たちです。

私の場合もスポーツが縁で山形に来ましたが、ある方との出逢いがなければ旅行会社で働いていたと思います。人生どこでどう変わるかはわかりません。皆さんそれぞれの人に影響を与える人物が必ず現れます。それと年次だより等でよく書いていますが自分が何に向いているか、自分は何がしたいのかわかる人はごくわずかだと思っています。自分探しは一生だと思います。自分の夢がある人は羨ましい限り。でもきっとそれぞれ夢ができます。どんな夢でもいいのです。これから自分探しをして下さい。その鍵は人との出逢いです。5年後？10年後？すばらしい大人になって現れることを期待します。10年後の私は、勝手に退職して豪華クルーズ船でカリブ海を旅行予定。(妄想？)



卒業おめでとう！感謝のある日々を、よき出会いに満ちた日々を。みなさんの将来がより一層輝かしいものになりますように。
三年一組
担任 遠藤 真介



卒業おめでとう！皆さんの目の前には、「あらゆる夢につながる道」があります。やがて、その道は、「あなただけの道」になっていくのです。どんなにまがりくねった道でも、しっかりと歩いていきますように！
三年二組
担任 田中 恵子



「卒業おめでとう」今、酒田西高を卒業して去来するものは何だろう。部活動？体育祭？受験勉強？高校生活三年間の中でみんなは逞しく成長したと思います。ただ、その成長には多くの人々が関わっていることを忘れないでください。当たり前のように毎日お弁当を作ってくれるお母さん。雨の日に会社を早く退社し迎えに来てくれるお父さん。ひとこと「ありがとう」を伝えよう。三年三組 担任 直井 暢之



今、ソチオリンピックにはまっています。アスリートの真剣勝負がとても楽しくて毎日寝不足です。今年はサッカーワールドカップもありますがブラジルなのでやはり昼夜逆転生活になりそうです。ああ学生が羨ましい。さて六年後には東京オリンピック開会式で会いましょう。皆さん開会式で会いましょう。さようなら。
三年四組 担任 本間 亮

卒業おめでとう！次のステージでは意識的にいろんなことに挑戦してください。君を知っている人はいない新たな場所、新しい自分に出会える、それはワクワクすることです。
三年五組 担任 石垣 和恵



3年次センター試験直前激励会

今年もまた、センター試験前日の1月17日(金)、校長や進路課長をはじめPTA学年委員長、年次主任、各担任、教科担任が、心強い言葉やユーモアあふれるアドバイスで、翌日のセンター試験を受ける控える3年次生を激励しました。西高生の皆さん。今までの努力の成果を存分に発揮してください。



1年次進路講演会

2月13日(木)、1年次の進路講演会が行われました。講師は慶応義塾大学先端生命科学研究所所長の富田勝先生です。世界最先端の研究を鶴岡で行っている富田先生の講演に、1年次生は皆引き込まれました。「君は何のために大学へ行くのか」と題した講演で、「大学とは研究するところである」としたうえで、ご自身の軌跡や、メタボローム解析の技術が環境・医療・食品解析など様々な分野に応用してされている取り組みなどを紹介し、「やりたい事とやるべきことを一致させると人生は無敵」と講演を締めくくりました。その後、1年次生の合計9人から次々と質問が浴びせられました。その都度丁寧に答えてくださった先生は「高校生にはどうかと思っていたんだけど…」と、凄いアイデアが生まれた場所を教えてくださいました。



PTA広報紙「はまなす」が東北コンクールで3年連続優秀賞受賞



本校のPTA広報紙「はまなす」52号が高P連広報紙コンクール東北審査会で、3年連続で「優秀校」に選ばれました。連続入賞という実績が、委員の熱意とプレッシャーを年々高めていき、「最優秀」が暗黙の目標になっていたようです。「プレッシャーを感じずに楽しみながら」とは言うものの、毎回夜遅くまで議論や校正を重ねての編集作業となりました。

ハードな委員会かも知れませんが、一度関わるとその楽しさに魅了され、3年連続で委員を務めてくださる保護者がほとんどで、感謝の念に絶えません。これからも皆様のご協力をいただき、「はまなす」が大きく咲くことを願っております。